

【タイムスケジュール】

要項からの変更点は赤字になっています。

- 9:30 開場
- 10:15 トップスタート
- 13:30 スタート閉鎖
- 14:15 フィニッシュ閉鎖
- 15:00 会場閉鎖

SI-card をレンタルする方は会場でお受け取りください。

参加費未払いの方は会場でお支払いください。

参加者数が会場の収容人数を超えております。女性の方は女子更衣室に荷物を置くようお願いいたします。

【競技概要】

競技形式 個人によるポイントオリエンテーリング(スプリント競技)
Sport Ident 社製電子パンチングシステム使用
(タッチフリー方式、My SI-card 使用可能)

地図 2017 年 東大 OLK リメイク JSSOM2007 準拠
旧図：東京大学本郷・弥生キャンパス(東大 OLK 2011 年作成)
縮尺：1/4,000 等高線間隔：2m 走行可能度 4 段階表記

特殊記号 地図で以下の特殊記号を使用します。

JSSOM2007 における 記号番号	地図上の記号	本大会での定義
420	×(緑)	切り株
539	○(黒)	電灯
540	×(黒)	像、郵便ポストなど

また、自動車の運行する道・区域は茶色の表記を濃くしてあります(506.1 / 529)。

コントロール位置説明で以下の特殊記号を使用します。

JSCD2008 における 記号番号	コントロール位置 説明上の記号	本大会での定義
6.2	○(黒)	電灯

クラス	距離、登距離はベストルートでの実走距離となっています。			
クラス	距離	登距離	コントロール数	優勝設定時間
Long / UTokyo	3.8 km	38 m	21	15 分
Middle	2.7 km	30 m	17	15 分
Extra	3.6 km	40 m	15	15 分

競技時間 45 分

【競技の流れ】

・会場→スタート

会場からスタート地区までは地図による誘導徒歩 5 分程度です。会場で誘導用の地図をお渡しします。途中信号を横断する箇所がございますので、時間の余裕をもってお越してください。

スタート地区周辺をウォーミングアップエリアとして利用することができます。

・スタート

プレスタート方式を採用します。

3 分前枠に入る前に **SI-card** をクリアステーション、チェックステーションの順にパンチしてください。

2 分前枠でコントロール位置説明表をピックアップすることができます。

2 分前枠と 1 分前枠の間には移動がございます。スタート時刻の 1 分前になりましたら、役員の指示に従い移動してください。

1 分前枠で地図をお渡しします。このとき地図面はご覧になりませんようお願いします。

スタート時刻になりましたら、**SI-card** をスタートステーションにパンチした後、地図を開き、競技を開始してください。1 分前枠の位置が地図上にスタート(△)で表示されています。

・フィニッシュ

設置されているタッチフリー対応のフィニッシュステーションにパンチすることでフィニッシュとなります。

・フィニッシュ→会場

フィニッシュ地区から会場へは、役員の指示に従いお戻りください。

【トレインプロフィール】

大都会東京。喧噪の中に突如として現れる学びの園。東京大学本郷・弥生キャンパスである。東京大学の本拠地にして学問・研究の拠点である一方、赤門・安田講堂といった歴史的建造物や、加賀藩上屋敷の庭園であった三四郎池などを擁することから観光地としても知られている。

キャンパスは本郷台地の端部に位置しており、概ね西高東低の地形になっている。巨大な建物と広大な道路が敷地の大部分を占めているが、アーケードを始めとする天蓋や地下通路、階段などの特徴物が点在し、通過可能箇所を判断する力が要求される。広場や三四郎池周辺などの一部の未舗装の区間では、滑りやすい部分も存在するため、走行には十分注意されたい。

【コースプロフィール】

Long/UTokyo クラスでは、タッチフリーSI を用いることにより高速なレース展開が予想される。その中で、高速レースに耐え得る持久力、適切なルート選択を続ける集中力が要求されるような、キャンパススプリントの醍醐味を味わえるコースとなっている。一瞬の判断の違いがタイムの差に繋がるようなレッグも織り交ぜられているため、常にリスクを想定する冷静な判断力も必要になる。

Middle クラスでは、**Long/UTokyo** クラスと比べ難易度を抑え、爽快に走ることができる区間が多く設定されている。主要な課題はやはりルート選択であり、常に広い視野で地図と現地とを対応させることがタイム短縮への鍵になるだろう。

Extra を出走される方は、今までにない本郷・弥生キャンパスでのオリエンテーリングに期待してほしい。

【競技情報】

- ・競技中に誘導区間はございません。
- ・読み取りは会場で行います。役員の指示に従い会場へお戻りください。
- ・金属ピン付きシューズは使用禁止です。
- ・地図上で「通過不能な植生」「通過不能ながけ」「通過不能な壁」「通過不能な柵または手すり」「私有地」「耕作地」などの通過禁止表記されている所は、絶対に通過しないでください。
- ・地図には立ち入り禁止区域として示してありますが、キャンパス内は工事区域が多くございますので、十分ご注意ください。**現地には立ち入り禁止区域を示すテープや目印などはありません。**

- ・地図に表記されていない資材や廃棄物がある可能性があります。通行する際は十分ご注意ください。
- ・細い通路などを通行する可能性があります。大学の職員・学生などの方の通行を妨げないようご注意ください。また、土曜日なのでキャンパス内は親子連れも多く散策しております。接触事故などがないようご注意ください。
- ・Extra は Long, UTokyo, Middle 出走後に出走することが可能です。1分間隔のフリースタート形式です。役員の指示に従いスタートしてください。

【タッチフリー対応 SI-card の注意点】

SIAC(タッチフリー対応 SI-card)は SI ステーションに近づけるとパンチが完了し、その際に SIAC が光と電子音を約 3 秒間発します。ステーションは光と音を発しません。パンチしたときは必ず自分の SIAC の光または音を確認してください。複数人が同時にパンチした際はほかの SIAC から音が聞こえている場合があるためしっかりと確認してください。

SIAC をステーションに近づけても光や音を確認できなかった場合は、SIAC の一部が破損している可能性があるため SIAC の先端を SI ステーションの穴に差し込んでください。SI ステーションが光と音を発すれば、SIAC に通過の記録が残ります。光も音も確認できなかった場合は、SIAC か SI ステーションが破損している可能性があるため、コントロールに取り付けられたピンパンチを用いて地図のリザーブ欄にパンチしてください。パンチの穴が通過証明となります。

タッチフリーSIの練習用ステーションを会場前に設けます。タッチフリーSIを初めて使用する場合はスタートする前に練習することを推奨します。

GPS 時計は SIAC と同じ腕に付けないでください。GPS 時計のアンテナが SIAC の感度を大きく低下させます。

【招待選手】

以下の選手を本大会の招待選手として無料で招待いたします。
会場にて参加費の返金がございます。

坂野 翔哉 (早大 OC) 大会運営に多大なお力添えをいただいたため

【当日参加】

Long, UTokyo, Middle	1,200 円
SI-card レンタル	+ 300 円

参加費は当日、会場でお支払いください。

当日参加は地図がなくなり次第締め切らせていただきます。

運営の都合上、Extra の当日参加は受け付けません。

当日参加者は表彰対象外となります。

【注意事項など】

- ・当日参加の方はスタート時刻が事前申し込みの方の後になります。
Long / UTokyo は 13:00 以降、Middle は 10:40 以降になります。
- ・レンタルした SI-card を紛失・破損された際は実費をいただきます。
- ・本大会参加者のオリエンテーリング目的での大学構内立ち入りを禁じます。
- ・本大会では傷害保険等には加入いたしません。
- ・競技中の事故等について責任を負いかねます。
- ・本大会の成績は Lap Center(<http://mulka2.com/lapcenter/>)に掲載いたします。氏名・所属の掲載を希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。
- ・学内関係者から苦情を受けた例がありました。競技中は走行に十分注意し、大学構内の教職員、学生、一般の方の活動を最優先とし、絶対にその妨げとならないようご注意ください。
- ・事前申込者の中で、Long, UTokyo クラスの上位 3 名と女子上位 1 名、Middle クラスの上位 1 名を翌日の第 39 回東大 OLK 大会にて表彰いたします。

【問い合わせ】

ご不明な点・質問などございましたら下記連絡先までお尋ねください。

運営責任者 田中翔大 maruo.070108■gmail.com(■→@)

当日緊急の際は、080-6801-5806(田中携帯)へご連絡ください。

プログラム 終わり